

株主の皆様へ

第 **73** 期

2023.4.1 ▶ 2024.3.31

証券コード 2676

Contents

私たちこんな会社です！	1
連結財務ハイライト	2
トップインタビュー	3
セグメント別の概況	5
TOPICS	7
連結財務諸表	11
会社情報	13
株式情報	14



私たちこんな会社です！

高千穂交易は1952年に創業し、これまで世界の先端商品をいち早く日本に紹介してきました。

高い技術力に裏打ちされた当社ならではのトータルソリューションで、皆様の暮らしをより豊かなものにしていきます。

店舗

店舗犯罪対策のソリューションや、業務効率化・省人化を実現するサービスを提供しています。



商品監視ゲート



ネットワークカメラシステム



トラフィックカウンター

- 当社は、全社員の40%超がエンジニア系の社員です。高い技術力が強みで、コンサルティングからお客様の仕様にあわせた設計、設置、障害対応まで、ワンストップでサービスを提供しています。
- 従来のモノ売りからサービス型の販売にシフトを進め、クラウドサービスの販売を強化しています。

オフィス・データセンター

セキュリティ・ネットワークシステムを構築し、オフィスやデータセンターの高いセキュリティ環境を実現しています。



クラウド型統合セキュリティ



クラウド管理型ネットワーク



リモートアクセス



設置・保守サービス



クラウドサービス



MSPサービス

住宅・家庭

自動車やスマートフォン、住宅設備等、身近なところへも導入されており、より快適な社会環境・生活環境を実現しています。



5G通信モジュール



シリコンマイク



引込・衝撃吸収用ダンパー

工場

半導体製造装置等の産業機器向けにお客様の要望に最適な電子部品や機構部品を、技術サポートと共にソリューションとして提供しています。



電源モジュール



スライドレール

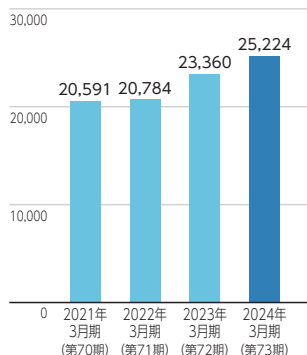


ケーブルソリューション

売上高

252億24百万円
(前年同期比 **▲** 8.0%増)

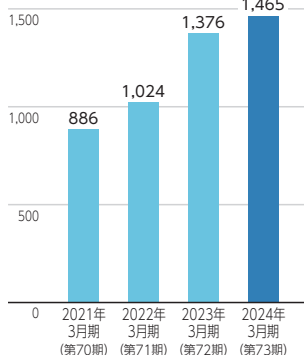
(単位：百万円)



営業利益

14億65百万円
(前年同期比 **▲** 6.5%増)

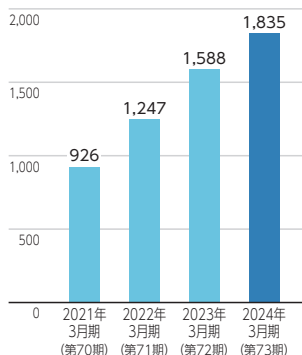
(単位：百万円)



経常利益

18億35百万円
(前年同期比 **▲** 15.6%増)

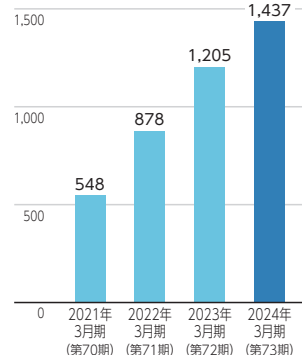
(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

14億37百万円
(前年同期比 **▲** 19.3%増)

(単位：百万円)



2024年3月期(第73期)決算のポイント

増収増益

- ・エレクトロニクス事業(デバイス)がけん引し、増収増益
- ・営業利益以下の各段階利益で上場来最高を更新
- ・ROEは8.6%に改善(前年+0.9pt)
- ・1株当たり年間配当金は158円(直近予想から21円増配、前年から25円増配)

次期見通しのポイント

増収増益を計画

- ・クラウドサービス&サポートセグメントで、スマートオフィスを実現する自社開発サービス「Cloom(クルーム)」を起点にクラウドサービスの複合提案を強化することや新商材の追加などで事業成長を加速させ、通期計画の達成を目指す

売上高	26,900 百万円 (前年同期比 6.6%増)
営業利益	2,050 百万円 (前年同期比 39.9%増)
経常利益	2,000 百万円 (前年同期比 8.9%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,490 百万円 (前年同期比 3.6%増)

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第73期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の事業活動の概況をご報告申し上げます。

2024年6月

代表取締役社長

井出 尊信



2024年3月期の総括をお願いします。

2024年3月期は2022年2月に発表しました中期経営計画の2年目にあたり、「変革に向けた高付加価値事業への集中と経営基盤強化による新たな価値の創造」を基本方針に掲げ、その実現に向けて取り組んでまいりました。

具体的には、クラウドサービス&サポートセグメントでは、MSPサービスの拡大及びクラウド型サービス等の新たな市場開拓や保守サービスの拡大を図りました。

システムセグメントでは、主要商品である商品監視システム、CCTVや入退室管理システムの付加価値強化、クラウド型無線LANやクラウドセキュリティ商品の販売強化、RFIDシステム、省人化システムなどのリテールソリューションの拡大を図りました。

他方、デバイスセグメントでは、エレクトロニクス事業においては主に通信インフラ市場、IoTを主とした産業機器市場、アミューズメント市場やオートモティブ市場への拡販及びソリューションビジネスの拡大、またメカトロニクス事業では、引き続き成長が見込まれる半導体製造装置等の産業機器市場、北米、ASEAN諸国、中国への住宅設備向け機構部品の販売、

国内外における自動車内装部品市場の開拓やユニット商品の開発などに注力しました。

その結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高は、エレクトロニクス商品類で受注残の取り込みが進み、産業機器向け電子部品の販売が好調に推移したこと等により、前年同期比8.0%増の252億24百万円となりました。

損益につきましては、上記理由により、上場来最高益を更新し、営業利益は前年同期比6.5%増の14億65百万円、経常利益は外貨建取引の為替差益を計上したことなどから、前年同期比15.6%増の18億35百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、投資有価証券の売却益により前年同期比19.3%増の14億37百万円となりました。



人的資本経営推進の取り組みについて教えてください。

近年、政府による人材育成や人的資本経営の推進により、各企業でもそれらの重要性への理解が深まっています。当社は、中期経営計画2022-2024にて「経営基盤の強化」を戦略の1つとして掲げ、人的資本投資を強化し、中計初年度である2022年度より、「人事制度改革」「働き方改革」「リスクリング」

など様々な取り組みを行ってまいりました。その中で、2023年度においては、社員のモチベーションアップを目的とした昇格・昇給機会を増やす等級区分への改定や、生活基盤の向上を目的とした各種手当の増額などを行い、その結果、2023年度の平均年収は前年比6%アップし、また、2024年度では前年比3%アップを見込んでいます。

また、2025年卒の新卒採用者(大学卒の総合職の例)の初任給を30万円に引き上げることを決定し、更なる優秀な人材の獲得を目指します。

その他にも、従業員持株会奨励金を10%から50%に引き上げたことで、加入率90.5%を達成しました。(2021年4月度は53.9%)社員への還元ということはもちろんですが、一人ひとりが株主目線を持って業務を進めることが、企業価値の向上につながると考えていますので、この結果は大変嬉しく思っています。

今後も、社員エンゲージメントを高め、持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けた取り組みを推進してまいります。



2025年3月期は どのような見通しですか？

前連結会計年度より、「成長性」と「収益性」の観点から、クラウド型のサービスビジネス、保守事業を『成長事業』として位置付け、新セグメント「クラウドサービス&サポート」として、システムセグメントから切り分けました。「クラウドサービス&サポート」では、「モノ売りからコト売りへ」を実現すべく、サブスクリプションモデルであるMSPサービスやスマートオフィスを実現する自社開発サービス「Cloom」、システムセグメントで販売したシステム機器の保守サービス等の拡販を更に強化します。

システムセグメントでは、リテール向けには、商品監視システムや顔認証システムなどの店舗セキュリティシステム、また、店舗運営業務の効率化や、人手不足を補うための省人化対策に有効なRFIDや映像のAI解析技術を応用したスマートストアソリューション、オフィス向けには、成長が著しいクラウドビジネスの拡大に向けて、クラウド型無線LANや安全で快適なリモートアクセスを実現するためのネットワークセキュリティシステム、

更に需要が高まると予測されるデータセンター向けの入退室管理システムの拡販に注力してまいります。また、グローバルビジネスに関しては、ASEAN地域の電力需要拡大に伴う発電プラント等の防火システム案件やインバウンド需要が旺盛なタイ小売業の防犯システム等の確実な取り込みを進めてまいります。

デバイスセグメントでは、エレクトロニクス事業における通信インフラ市場や半導体製造装置分野などを中心とした産業機器分野、及びソフトウェアやセンサーと融合したソリューションビジネスに注力し、メカトロニクス事業においては、成長が見込まれるデジタル関連の産業機器分野への拡販、及び米国や中国の住宅設備市場向けに付加価値の高いユニット商品の拡販を進めております。

以上により、次期の業績につきましては、売上高269億円、経常利益20億円、親会社株主に帰属する当期純利益14億90百万円を見込んでおります。



株主還元・配当方針について お聞かせください。

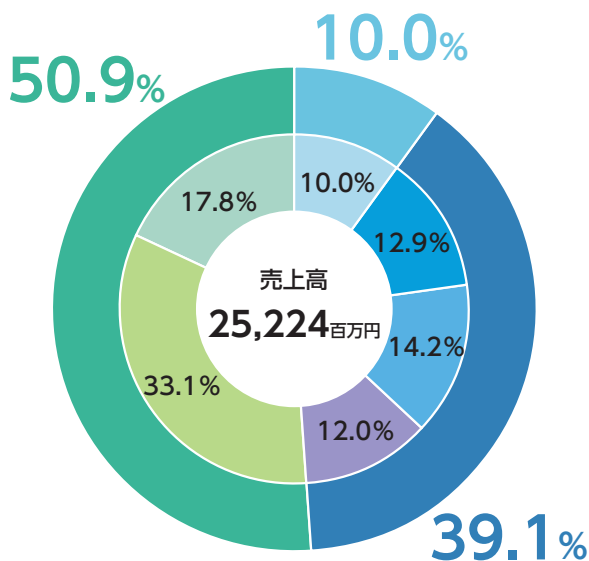
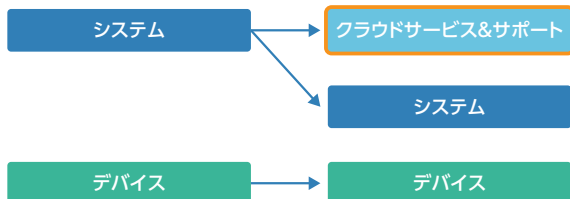
当社は、中期経営計画2022-2024において、ROEが中計初年度である前期から3期平均で8%を達成するまでは配当性向100%を維持することを基本方針としております。この方針は、当社の財務健全性を総合的に勘案したうえで、資本収益性ならびにバランスシートの改善を目的とするものです。また、配当下限については引き続き年間24円としております。

当該方針に基づき、当期末の配当金につきましては、当期業績を踏まえ、直近の配当予想から21円増配し、1株当たり105円とすることといたしました。これにより、年間配当は、中間配当(1株当たり53円)と合わせて、前期比25円の増配となり、1株当たり158円となります。次期の2025年3月期につきましては、連結業績予想に基づき、1株当たり160円(中間配当58円、期末配当102円)を予定しております。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別の概況

2023年3月期より、「成長性」と「収益性」の観点から、クラウド型のサブスクリプション型サービスビジネス、保守事業を『成長事業』と位置づけ、クラウドサービス&サポートセグメントとして切り分けています。



- クラウドサービス&サポート
 - クラウドサービス&サポート商品類
- システム
 - リテールソリューション商品類
 - ビジネスソリューション商品類
 - グローバル商品類
- デバイス
 - エレクトロニクス商品類
 - メカトロニクス商品類

クラウドサービス&サポート

売上高

25億31百万円

前年同期比

6.1%増



営業利益

4億86百万円

前年同期比

4.1%減



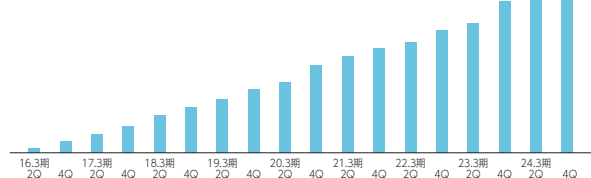
クラウドサービス&サポート商品類(前年同期比6.1%増)

クラウドサービス(MSPサービス含む)、システムセグメント内の商品の保守

入退室管理システムやネットワーク製品の保守収入やMSPサービス*の契約数、及びクラウドサービスの種類拡充により売上高は順調に推移した一方で、メーリングシステム保守部品が、円安による仕入コスト増加と在庫評価損計上により営業利益を押し下げたことで、売上高は前年同期比6.1%増の25億31百万円、営業利益は前年同期比4.1%減の4億86百万円となりました。

*MSPサービス:クラウド製品の保守運用・稼働監視をサブスクリプション型で行う当社独自のサービス

MSPサービス契約数推移



契約ライセンス数

18,305

2024年3月末

新規契約数

2,912

2024年3月期

月次解約率*

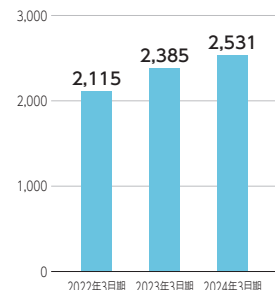
0.48%

2024年3月期平均

*月次解約率:1ヶ月の契約解約数÷前月末の累計契約数

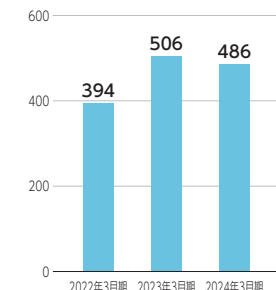
売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)



システム

売上高

98億57百万円

前年同期比

2.4%増



営業利益

△29百万円

前年同期比

△1億22百万円



リテールソリューション商品類(前年同期比2.9%増)

EAS(商品監視システム)、映像監視システム、ストアマネジメントシステム、ディスプレイセキュリティシステム、システム構築

アパレル向けにRFIDを応用した商品管理ソリューションやセキュリティシステムが増加したことに加え、ドラッグストア向け商品監視システム等が好調に推移し、売上高は前年同期比2.9%増の32億42百万円となりました。

ビジネスソリューション商品類(前年同期比5.5%増)

オフィス入退室管理システム、メーリングシステム、RFIDシステム、ネットワークシステム、システム構築

外資オフィス向け入退室管理システムやネットワーク製品が好調に推移したことに加え、機器調達が遅れていたメーリングシステムの納品が完了したことにより、売上高は前年同期比5.5%増の35億75百万円となりました。

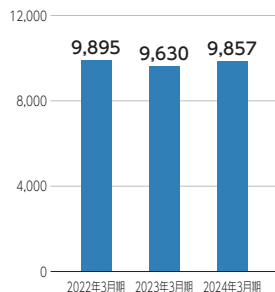
グローバル商品類(前年同期比1.6%減)

防火システム

タイのアパレル店舗向けのセキュリティシステムが好調に推移したものの、発電所建設計画遅延により防火システムが減収となり、売上高は前年同期比1.6%減の30億39百万円となりました。

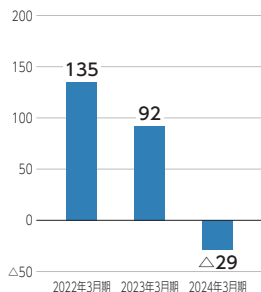
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



デバイス

売上高

128億35百万円

前年同期比

13.1%増



営業利益

10億8百万円

前年同期比

29.9%増



エレクトロニクス商品類(前年同期比20.2%増)

半導体、シリコンマイク、各種センサーなど

前期末の受注残の取り込みが好調に推移し売上高を押し上げました。加えて、2021年に代理店契約を締結したNTCJ社*製品の販売が好調に推移したことや、民生機器やビジネス機器、アミューズメント向けに新規採用が増加したことにより、売上高は前年同期比20.2%増の83億44百万円となりました。

*NTCJ社：ヌヴォンテクノロジージャパン株式会社

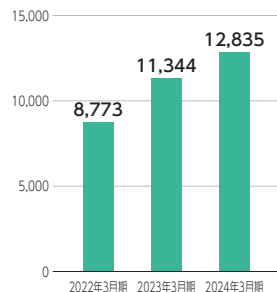
メカトロニクス商品類(前年同期比2.0%増)

スライドレール、ガスピリング、昇降システム、電子錠、ダンパーなど

新紙幣改刷による銀行端末向け機構部品や発電設備向け部品の販売、新商材「スパイラルシャフト」等の直動製品がスマート遊技機に採用されたことによりアミューズメント向けの販売が好調に推移し、売上高は前年同期比2.0%増の44億91百万円となりました。

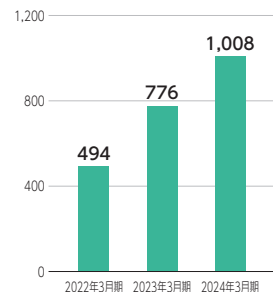
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



人・モノ・空間を繋ぎスマートオフィスを実現するクラウドサービス「Cloom(クルーム)」のご紹介
～オフィスの困りごとを解決し、生産性の向上や働き方の多様化を支援～

2023年度に販売を開始しました「Cloom(クルーム)」は、クラウド管理型ネットワークソリューション「Cisco Meraki」及びクラウド管理型統合セキュリティプラットフォーム「Verkada」と連携し、スマートオフィス化を推進するクラウドサービスです。スマートオフィス化によるオフィスの困りごとを解決し、業務効率化・生産性の向上や働き方の多様化を支援します。

近年、人材を「資本」と捉え、その価値を最大限に引き出す経営(人的資本経営)が注目され、その中で社員満足度向上を目指した働き方の多様化(座席のフリーアドレス化やハイブリッドワーク)を推進する企業が増えてきています。そのようなスマートオフィス化が求められる一方で、それに伴う新たな課題(社内コミュニケーション、オフィス環境、ネットワーク管理)も出てきています。

Cloomの導入により、これまで分からなかった社員の所在やオフィス環境(温湿度・CO₂・騒音)、ネットワークの稼働状況などを可視化し、最適化することが可能となります。そして、それらの豊富な情報がダッシュボード上で一元管理できるようになることで業務効率化につながります。

今後お客様の要望を伺いながら、新機能や連携できる製品を追加し、ご提供することで、持続的な企業の生産性向上を支援します。



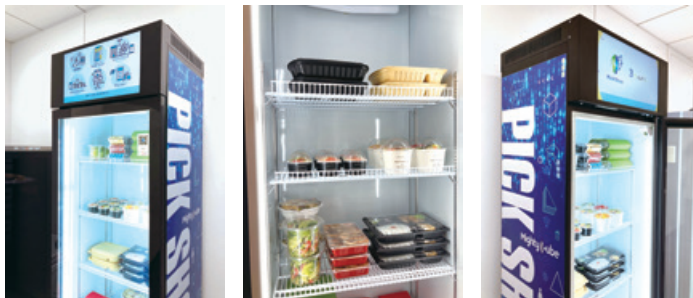
冷凍タイプのAI自動販売機「PickShop」(ピックショップ)を販売開始 ～省人化や収益拡大、企業の「健康経営」推進を支援～

2019年販売の冷蔵庫タイプに続き、AI自動販売機「PickShop」(ピックショップ)の冷凍タイプの販売を開始しましたので、ご紹介いたします。

「PickShop」は、利用者が手に取った商品をAIカメラで識別し、キャッシュレスで決済する自動販売機です。商業施設やビジネスホテル、オフィスなどでの利用を想定し、当製品を提供することで、省人化や収益拡大、企業の「健康経営」の推進を支援しています。

近年「タイムパフォーマンス(タイパ)」を意識する消費者が増加し、短時間で簡単に調理可能な上、美味しさが進化している冷凍食品の需要が高まっています。それに加えて、人手不足の問題から、冷凍自販機や、冷凍食品を販売する無人店舗も増加しています。また、従業員の健康を重視する「健康経営」を推進する企業が増え、オフィスで冷凍の総菜等を社食として提供することが増えてきています。

そのような需要を踏まえ、今後は商業施設のイートインスペースやビジネスホテルの自販機コーナー、オフィスでの社食販売などに向けて、当社のソリューションを提案することで、お客様の課題解決を目指します。



【特長とメリット】

① ショーケース内の棚の高さを自由に変更できる

→ 販売できる商品の大きさやデザインの自由度が高く、商品の補充や回収を簡単に行うことができます。

② ショーケースの前面がガラス扉になっている

→ 購入前に実際の商品を目で見て、安心して購入することができます。

③ キャッシュレス決済(二次元コードまたはクレジットカードでの決済)

→ 現金回収や釣銭管理の手間を省きます。また、WeChat PayやAlipay+にも対応しているため、インバウンドのお客様向けにも販売できます。

④ クラウド上で、リアルタイムの売上データ確認や在庫管理などの運用管理が可能

→ 販売機会ロスの削減、配送の効率化を実現します。

テリロジーホールディングスとのOTセキュリティおよび産業系ソリューション領域の市場開拓に関する業務提携により、新規事業の取り組み加速

当社はテリロジーホールディングスとの間で、産業向けトータルソリューション分野強化策の一環として、OT^(※1)セキュリティ事業を中心にした取引拡大および次世代事業開発に関する業務提携契約を2024年4月に締結し、共同での産業系ソリューション領域の市場開拓を開始いたしました。

昨今、製造業を取り巻くサイバーセキュリティリスクは、工場のスマート化の広まりやIoT^(※2)デバイスの導入により、急速に深刻化しています。また、鉄道、電力、ガス、石油化学等の重要インフラや自動車業界など各産業界においてガイドラインが制定され、製造業のサプライチェーン全体においてより一層のセキュリティ強化・対策を求められるようになりました。

この状況を踏まえ、OTネットワークにおけるセキュリティの重要性にいち早く着目し、OT/IoTセキュリティ市場のマーケットリーダー、米国Nozomi Networks社の販売代理店として日本国内の製造業/社会インフラを中心とした多くの大手企業への導入実績があり、新規事業領域において海外との強固なリレーションを持つテリロジーグループと業務提携を開始いたしました。

本協業により、テリロジーホールディングスの持つOT/IoTセキュリティに関する技術力およびナレッジと、当社の持つサービス&サポートの対応能力やネットワークセキュリティの知見、顧客基盤を融合し、製造業のお客様へより一層の安心・安全・快適なシステム環境と付加価値の高いサービスをご提供してまいります。

また、双方の新規事業開発部門における協業により、日本の現場課題と社会課題を解決できる世界の最先端ソリューションの共同でのファインディングを行い、新規事業・ビジネスモデルの立ち上げ、市場化による新たな企業価値創造を狙います。



(※1)OT:Operational Technology

(※2)IoT:Internet of Things

当社グループは事業を通じた社会課題の解決を目指して、産業と社会の持続的発展に貢献する取り組みを推進しています。その一環として、社会貢献活動に取り組んでいます。一つ一つは小さな取り組みではありますが、積み重ねて継続することで、社員の社会貢献への気持ちを芽生えさせ、自分事としてつなげられるように努めています。

高千穂交易グループ初の出前授業開催

RFID関連製品やセキュリティ機器の開発・販売を行っているマイティキューブ(株)の開発部社員が、新宿区四谷小学校様より全国小学校社会科研究協議会研究大会の一環として依頼を受け、出前授業を開催しました。授業では、実機を使ってRFIDの読み取り実演や子供達自身にも読み取り体験をしてもらいました。

限られた時間でしたが、将来を担う子供達に当社グループの技術を楽しく学んでもらいながら、その技術で人手不足や温暖化、脱炭素などの社会課題の解決につなげることはできるか?を考えるヒントとなる良い機会でした。



地域清掃活動

地域社会への貢献、社員の環境・美化意識の向上を目指し、春と秋の2回四谷地区協議会が開催している四谷ゴミゼロデーに参加しています。今後も地域の皆様と一緒に住みよい街づくりに貢献できるよう、継続して清掃活動を推進します。

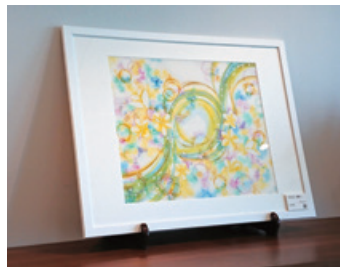


パラリンアート

障がい者の社会参加と経済的自立の推進を目的に一般社団法人 障がい者自立推進機構が運営する「パラリンアート」の活動に賛同し、オフィシャルパートナーになっています。

本社オフィスのレセプションにパラリンアートを掲示し、来社される方々にご覧いただいております。この取り組みがパラリンアートの認知・拡大につながることを期待しています。

作品名：SMILE ～満開～
作者名：花守洗果



 Paralym Art®
障がい者アートを応援しています



■ 連結貸借対照表

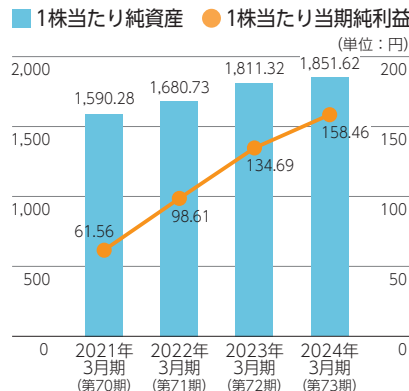
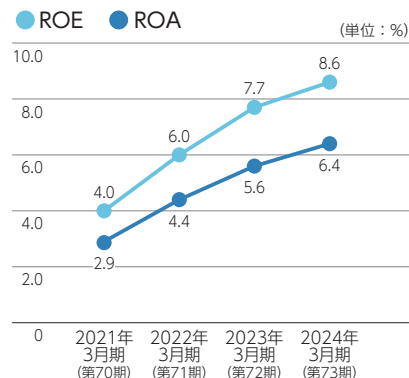
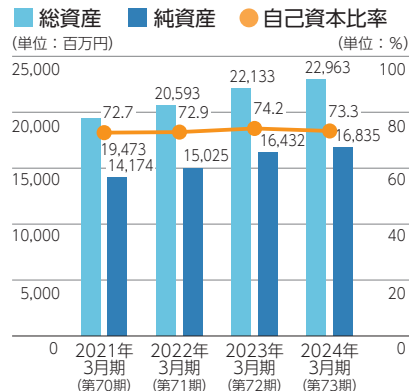
(単位：百万円)

科目	第73期 2024年3月31日現在	第72期 2023年3月31日現在	前期末比 (%)	増減
(資産の部)				
流動資産	18,887	18,302	3.2	585
固定資産	4,075	3,831	6.4	244
有形固定資産	459	446	3.1	13
無形固定資産	171	233	△26.8	△62
投資その他の資産	3,444	3,151	9.3	293
資産合計	22,963	22,133	3.8	830
(負債の部)				
流動負債	5,407	4,952	9.2	455
支払手形及び買掛金	2,924	3,059	△4.4	△135
固定負債	719	748	△3.9	△29
負債合計	6,127	5,700	7.5	426
(純資産の部)				
株主資本	15,464	15,478	△0.1	△13
資本金	1,209	1,209	0	0
資本剰余金	1,381	1,375	0.5	6
利益剰余金	13,938	13,979	△0.3	△41
自己株式	△1,064	△1,085	△1.9	21
その他の包括利益累計額	1,366	946	44.4	419
新株予約権	4	8	△38.6	△3
純資産合計	16,835	16,432	2.5	403
負債純資産合計	22,963	22,133	3.8	830

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

CHECK POINT!

ROEが前年度より0.9ポイント増の8.6%に改善



■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第73期	第72期
	2023年4月 1 日から 2024年3月31日まで	2022年4月 1 日から 2023年3月31日まで
売上高	25,224	23,360
売上原価	19,173	17,522
売上総利益	6,051	5,838
販売費及び一般管理費	4,585	4,461
営業利益	1,465	1,376
営業外収益	428	270
営業外費用	57	58
経常利益	1,835	1,588
特別利益	280	0
特別損失	-	103
税金等調整前当期純利益	2,116	1,485
当期純利益	1,437	1,205
親会社株主に帰属する当期純利益	1,437	1,205

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第73期	第72期	増減
	2023年4月 1 日から 2024年3月31日まで	2022年4月 1 日から 2023年3月31日まで	
営業活動による キャッシュ・フロー	1,642	△1,387	3,030
投資活動による キャッシュ・フロー	29	522	△493
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,459	△303	△1,155
現金及び現金同等物の 増減額	362	△1,099	1,461
現金及び現金同等物の 期首残高	4,509	5,608	△1,099
現金及び現金同等物の 期末残高	4,871	4,509	362

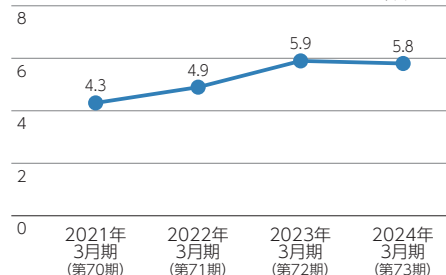
(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

CHECK POINT!

- エレクトロニクス商品類(デバイス)がけん引し、増収増益
- 事業好調に加えて為替差益と政策保有株の売却益も寄与し、営業利益以下の各段階利益で、上場来最高益を更新

● 営業利益率

(単位：%)



CHECK POINT!

1 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が21億16百万円となる中、法人税等の支払額2億85百万円、投資有価証券売却益2億80百万円があったことや前払費用が2億57百万円増加した一方で、売上債権が2億99百万円減少したことなどにより、前連結会計年度と比べ30億30百万円増加し、16億42百万円のプラスとなりました。

2 投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度と比べ4億93百万円減少し、29百万円のプラスとなりました。

3 財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払14億80百万円があったことなどにより、前連結会計年度と比べ11億55百万円減少し、14億59百万円のマイナスとなりました。

■ 会社概要

設立	1952年3月
資本金 (2024年3月31日現在)	12億921万円
従業員数 (2024年3月31日現在)	244名 (単体)、474名 (連結)
取引金融機関	みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、三菱UFJ信託銀行
主要業務	セキュリティシステム、情報ネットワークシステム、メーリングシステム、ICタグ応用システム、防火システム、半導体及び機構部品等の輸出入及び販売・据付・保守サービス並びにシステム設計・システム運用受託等サービス
ホームページ	https://www.takachiho-kk.co.jp/

■ 事業所

本社	東京都新宿区四谷1丁目6番1号 (YOTSUYA TOWER) Tel.03-3355-1111 (代)
大阪支店	大阪市北区梅田3丁目3番20号 (明治安田生命大阪梅田ビル) Tel.06-6453-1610 (代)
名古屋支店	名古屋市中村区名駅南1丁目21番19号 (名駅サウスサイドスクエア) Tel.052-582-2915 (代)
札幌営業所	札幌市中央区北一条東1丁目4番地1号 (サン経成ビル) Tel.011-223-3552 (代)
九州営業所	福岡市博多区店屋町8番24号 (九勸呉服町ビル) Tel.092-271-6759 (代)
サービス網	全国300ヶ所

■ 取締役・監査役

代表取締役社長兼社長執行役員	井出 尊信
取締役兼執行役員	平田 嘉昭
取締役兼執行役員	植松 昌澄
取締役兼執行役員	辰己 一道
取締役	鶴岡 通敏※
取締役	串間 和彦※
常勤監査役	横戸 憲一
監査役	千葉 彰※※
監査役	木崎 孝※※

(注) ※は社外取締役です。※※は社外監査役です。

■ 執行役員

執行役員	高山 博喜
執行役員	市川 大輔
執行役員	田中 毅則
執行役員	井藤 政樹

■ 主要な連結子会社

マイティキューブ株式会社	
事業内容	RFID関連機器及びICタグ、セキュリティシステムの開発・製造及び販売
TAKACHIHO KOHEKI (H.K.) LIMITED	
事業内容	電子部品、半導体、機構部品及び住宅収納ユニットの提案・販売
提凱貿易 (上海) 有限公司	
事業内容	電子部品及び機構部品の販売
Takachiho Fire, Security & Services (Thailand) Ltd.	
事業内容	セキュリティシステム、防火システムの輸入及び販売
Guardfire Limited	
事業内容	高度防火システムの設計・販売
Guardfire Singapore Pte. Ltd.	
事業内容	高度防火システムの設計・販売
Takachiho America, Inc.	
事業内容	機構部品の販売、商品及び事業リサーチ

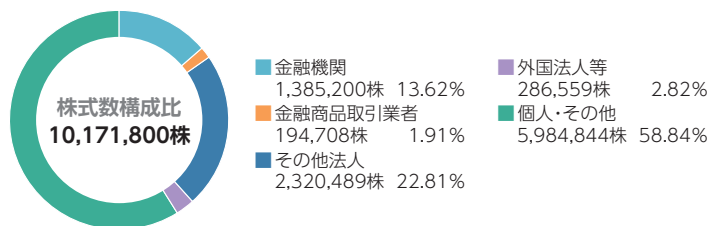
発行可能株式総数	36,000,000株
発行済株式の総数	10,171,800株
株主数	16,384名

大株主

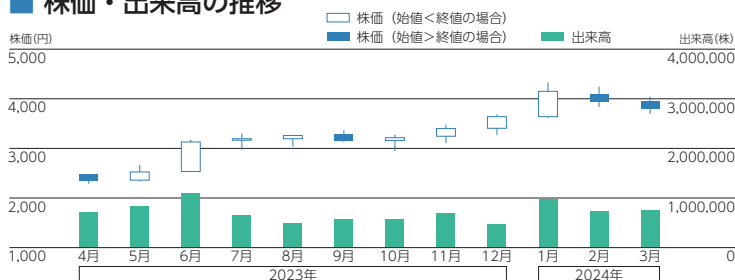
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社マースグループホールディングス	804,000	8.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	497,300	5.43
セコム株式会社	450,000	4.91
株式会社みずほ銀行	300,600	3.28
株式会社マーストークンソリューション	265,000	2.89
明治安田生命保険相互会社	216,000	2.36
ヒューリック株式会社	200,000	2.18
高千穂交易従業員持株会	186,258	2.03
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDP AIF CLIENTS NON TREATY ACCOUNT	168,000	1.83
佐々木豊実	122,500	1.33

(注) 1. 当社は、自己株式1,024,232株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。なお、自己株式には役員向け株式給付信託に係る当社株式57,900株を含めておりません。また、持株比率は自己株式数を控除して算出し、小数第3位以下を切捨てて表示しております。
2. 上記日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は、497,300株であります。

株式分布状況



株価・出来高の推移



株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 期末配当金 3月31日
受領株主確定日
- 中間配当金 9月30日
受領株主確定日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711
(通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部

【株式に関するお手続き用紙のご請求について】

特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等)のご請求につきましては、以下のホームページより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。

インターネットアドレス：<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

- 上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場
- 公告の方法 電子公告により行います。
公告掲載URL <https://www.takachiho-kk.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)
- 1単元の株式数 100株

第73回定時株主総会決議ご通知について

2024年6月26日開催の当社第73回定時株主総会において、第73期期末配当金は、配当性向100%とする当社の株主還元方針に則り1株につき105円と決定いたしましたので、同封の『期末配当金領収証』によりお支払いいたします。つきましては、払渡期間内（2024年6月27日から2024年7月31日まで）に、最寄りのゆうちょ銀行または郵便局でお受け取りくださいますようお願い申し上げます。

既に口座振込をご指定の方には、『期末配当金計算書』及び『配当金振込先ご確認』のご案内を同封いたしましたので、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

なお、第73回定時株主総会において報告及び決議された内容の詳細につきましては、当社ウェブサイト(<https://www.takachiho-kk.co.jp/ir/stock/soukai/>)に掲載しておりますので、ご参照ください。

株主優待制度

毎年3月末時点で100株以上を所有している株主様に保有株式数に応じ「お米ギフト券」をお送りしています。



保有株式数	優待内容
100株以上200株未満	お米ギフト券 2kg分
200株以上300株未満	お米ギフト券 5kg分
300株以上	お米ギフト券 10kg分

公式noteのご紹介！

株主の皆様により分かりやすく当社の事業について理解を深めていただくため、メディアプラットフォーム「note」に公式アカウントを開設しています。投稿を通じて、様々な取り組みや企業文化をご紹介することで、より当社を身近に感じて親しみをもっていただきたいと思います。

■ 配信予定記事

事業の説明／各種取り組みの紹介／

新卒・中途向け採用情報／投資家向け情報 等



高千穂交易
note公式アカウント

TK 高千穂交易株式会社
TAKACHIHO KOHEKI CO.,LTD.

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目6番1号

TEL 03-3355-1111 (代)

URL <https://www.takachiho-kk.co.jp/>

株主の皆さまの
声をお聞かせください

コエキク

<https://koekiku.jp>
アクセスキー

株主アンケートにご回答いただいた方の中から
抽選で**500円**分のギフト券を
プレゼント！

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉ koekiku@pronexus.co.jp

UD
FONT

